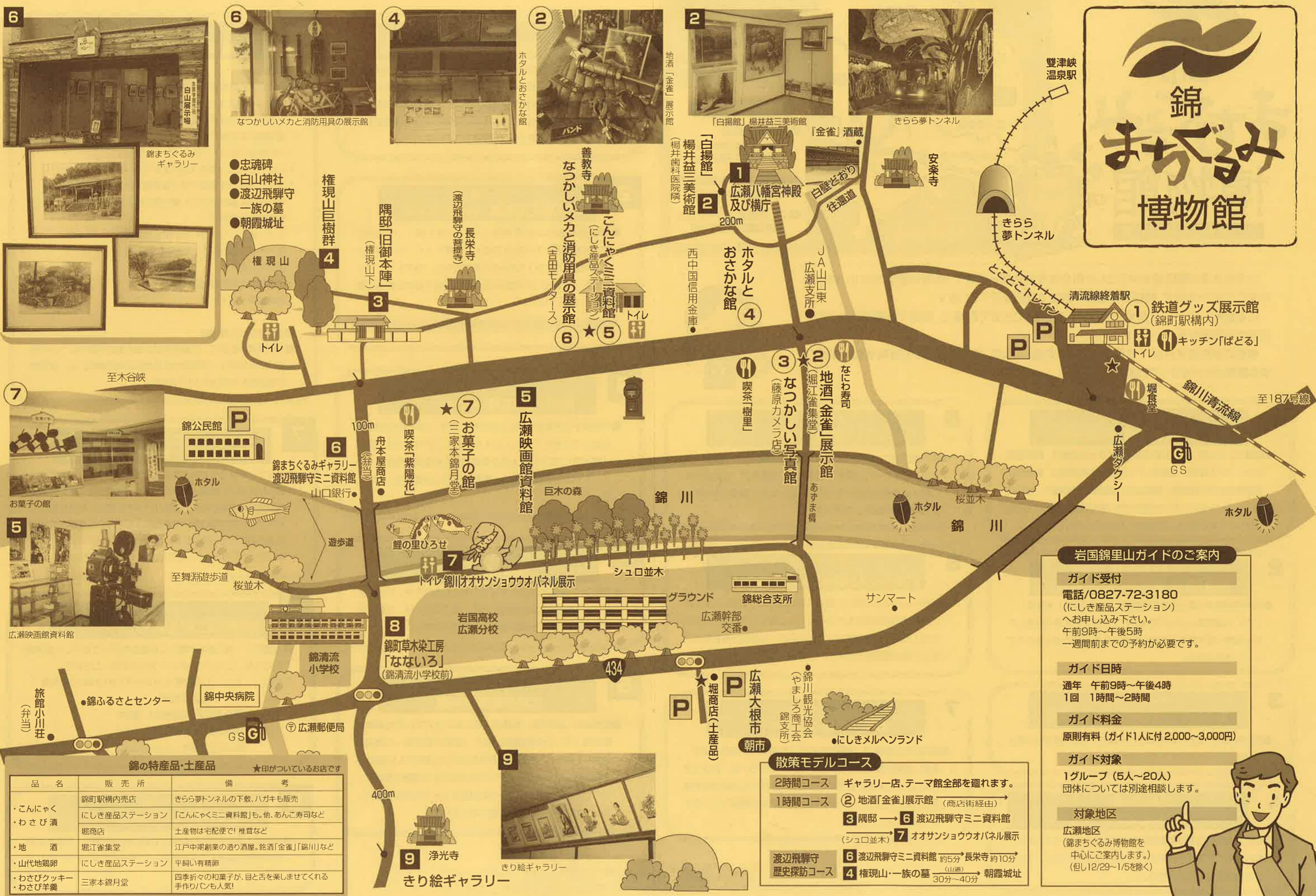


錦まちぐるみ博物館



錦の特産品・土産品 ★印がついているお店です

品名	販売所	備考
・こんにゃく ・わさび漬	錦町駅構内売店 にしき産品ステーション	きらら夢トンネルの下敷、ハガキも販売 「こんにゃくミニ資料館」も。他、あんこ寿司など
・地酒	堀商店	土産物は宅配便で！ 推奨など
・山代地鶏卵	にしき産品ステーション	平飼い有精卵
・わさびクッキー ・わさび羊羹	三家本錦月堂	四季折々の和菓子が、目と舌を楽ませしてくれる手作りのパンも人気！

岩国錦里山ガイドのご案内

ガイド受付
 電話/0827-72-3180
 (にしき産品ステーション)
 へお申し込み下さい。
 午前9時～午後5時
 一週間前までの予約が必要です。

ガイド日時
 通年 午前9時～午後4時
 1回 1時間～2時間

ガイド料金
 原則有料 (ガイド1人に付 2,000～3,000円)

ガイド対象
 1グループ (5人～20人)
 団体については別途相談します。

対象地区
 広瀬地区
 (錦まちぐるみ博物館を
 中心にご案内します。)
 (但し12/29～1/5を除く)

散策モデルコース

- 2時間コース** ギャラリー店、テーマ館全部を廻れます。
- 1時間コース**
 - ② 地酒「金雀」展示館 (商店街経由)
 - ③ 隅邸 → ⑥ 渡辺飛騨守ミニ資料館 (シュロ並木) → ⑦ オオサンショウウオパネル展示
 - 渡辺飛騨守 歴史探訪コース ④ 権現山・一族の墓 (山道) → 朝霞城址 約5分 約10分 30分～40分



錦 まちぐるみ 博物館

山口県岩国市錦町広瀬



- 岩国I.Cから車で40分
- 六日市I.Cから車で15分
- 周南から車で1時間
- 寂地峡から車で45分
- 錦川清流線岩国駅より1時間

お問い合わせ先

- 錦川観光協会
(やましる商工会錦支所)
TEL/0827-72-2354
- 錦総合支所地域振興課
TEL/0827-72-2110
- にしき産品ステーション
TEL/0827-72-3180

ひろせ本通り商店街を中心とした町全体を博物館と見立て、錦町の歴史や文化、商店のお宝にスポットを当て、関係する場所やお店で展示を行っています。

町を散策しながら、歴史や文化に触れてもらうことができ、また、商店ではお宝についての説明を直接受けることができます。

事前に予約をすれば、「岩国里山ガイドの会」による、地元ならではの情報や魅力を紹介する観光ガイドも行っています。



1 ギャラリー店 鉄道グッズ展示館 (錦町駅構内)

●鉄道マニアには、喉から手が出そうなお宝を展示。昭和初期にカーバイトを炊いて使用していた機関士用点検灯、国鉄時代の乗務員専用の時刻表、昭和初期の国鉄駅助役の帽子、岩日線時代のプレーキハンドルや通行手形の様な役割をはたしていたタブレットなど懐かしい鉄道グッズが陳列されている。

2 ギャラリー店 地酒「金雀」展示館 (堀江雀集堂)

●江戸中期創業の造り酒屋の老舗で、銘酒「金雀」を製造。ここには暖気樽といって湯を入れて発酵を促す樽や浸漬した米を蒸籠へ移す道具で鉄砲と言われるものなど当時使われていた小道具を展示。

3 ギャラリー店 なつかしい写真館 (藤原カメラ店)

●古い写真機、懐かしい写真などを展示。特に昭和36年頃まで使用していたガラスの原板が多数残っている。

4 ギャラリー店 ホテルとおさかな館

●ホテルの生態と錦川中流域に生息する淡水魚などをパネルで紹介。またアマゴやハヤなどが水槽で飼われており、その様子を観察することが出来る。

5 ギャラリー店 こんにやくミニ資料館 (にしき産品ステーション)

●錦町特産品こんにやくに関する資料を写真パネルで展示してある。こんにやくの歴史、製造方法、効能など、こんにやくに関する基礎的知識が得られる。こんにやく製品を含め町内各種特産品が販売されている。

6 ギャラリー店 なつかしいメカと消防用具の展示館 (吉田モーターズ)

●懐かしいバイクや消防に関する用具を展示。手押しポンプは江戸時代の明和期に製作されたものと言われている。また大きな人力ポンプは腕用ポンプといわれ、大正時の蓄音機など珍しい物が展示されている。

7 ギャラリー店 お菓子の館 (三家本錦月堂)

●昭和9年の創業で、当時使われていた製菓用小道具、焼印、抜型、型焼の型、落雁の押型など展示されている。下の工場では、当時のかまどが使われており、手作りパンは人気の商品。また、わさびクッキーやわさび羊羹は道の駅「ビューラインにしき」のヒット商品。

1 テーマ館 広瀬八幡宮神楽及び横庁 (岩国市指定有形文化財)

●創建は、大同2年(807年)。豊前の宇佐八幡宮より勧請されたものである。拝殿は、中央間に馬道をとる割拝殿形式で、八幡宮ではこれを「横庁」と呼んでいる。「横庁」は、名主たちが八幡宮の運営や行事、水争いなど地域の紛争を協議する場所、古来から各名主の座が決められている。

2 テーマ館 楊井益三美術館 (楊井歯科医院隣)

●楊井歯科医院の故楊井益三先生の画を展示。昭和50年、光陽会展へ初出品され初入選を果たされ、以来毎年出品、平成元年には14回目の入選をされた。晩年には、バイクを駆って自然との対話を楽しみ、気楽で自由な創作活動を続けられていた。

※入館には鍵が必要です。にしき産品ステーションにあります。

3 テーマ館 隅邸・旧御本陣 (船津権現山下)

●毛利家から名字を拝領した旧庄屋の邸宅。江戸時代以前から当地に居を構えていたと伝えられる。江戸中期の古地図に「御本陣」と記され、大名や幕府の役人が宿泊に利用していた。1747年からは「勘場(宰判の役所)」が建物内に置かれていた。

4 テーマ館 権現山巨樹群

●周囲5m、樹高31mのイチイガシやクロガネモチ、ツクバネガシ、アカガシなどの巨樹がある。後方の丘には、毛利元就の重鎮渡辺飛騨守一族の墓所と朝霞城址がある。

5 テーマ館 広瀬映画館資料館

●昭和20～30年頃、地域の人達に親しまれていた広瀬映画館に残っていた映写機等を展示。当時は「玖北唯一の映劇の殿堂」と言われ、近隣町村からも沢山の人が大いに賑わっていた。しかしながら、テレビの普及により閉館を余儀なくされた。当時のスポンサーのCM用スライドも沢山残っているが、約半分の店はすでに無くなっている。

6 テーマ館 錦まちぐるみギャラリー

川口健治先生
●県下の誇れる画家川口健治先生の描いた、錦町の風景画や昔ばなし「錦ふるさと散歩」の挿絵等を展示したギャラリー。一角には生涯学習作品の展示コーナーもあり、錦まちぐるみ博物館の核施設である。

〈川口健治プロフィール〉

- 1938 熊毛郡上関町八島に生まれる
- 1960 京都市立美術大学(現芸術大学)西洋画科卒業
- ・個展48回、国内展62回、海外展38回、画集10巻出版
- ・岩国短期大学教授
- ・タイ・国立シラバコーン大学客員教授
- ・スペイン・国立ブラド美術館財団会員(柳井市出身)
- ・山口県文化功労賞(2000)
- ・紺綬褒章(2001)

渡辺飛騨守ミニ資料館

●毛利元就の重臣で、広瀬朝霞城の城主渡辺飛騨守について写真パネルで紹介。江戸時代毛利家の年賀の儀式には、渡辺家の者が執り仕切ったといわれる。

7 テーマ館 錦川オオサンショウウオパネル展示

●オオサンショウウオは世界最大の有尾両生類で、日本では中国山地を中心に四国と九州に生息。昭和27年に国の特別天然記念物に指定された。別名ハンザキと言い、半分に裂いてもすぐには死なない強い生命力によるとも、口が頭部の半分を占めるからとも言われる。餌はヤマメ、サワガニ等。産卵は8月でマスクット大の卵を400～500個程度産む。

8 テーマ館 錦町草木染工房「なないろ」(錦清流小学校前)

- 定例的に、毎月第2木曜日に講習会を行っており、一般参加もできる。これ以外の日には予約が必要。土日可。
- 料金 ・スカーフ1枚(絹)とハンカチ1枚(木綿)の材料費込み 1人3,000円
- 予約 ・電話0827-72-2683(藤井)
- ・電話0827-72-2730(片山)
- 5人以上でお申し込み下さい。

9 テーマ館 きり絵ギャラリー(浄土真宗本願寺派 浄光寺)

●前住職広兼至道(故人)師のきり絵の遺作を展示。代表作は第8回世界仏教婦人大会を記念して「恵信尼さま」が刊行されている。

